



BS通信尾張東地区

スカウトかわらばん

発行:ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区委員長 横江昭憲

NO.19 2007.10.1

「より良いスカウティングをより多くの青少年に」

現在の子どもたちには、生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感謝する心等。「生きる力」をはぐくむ心の教育の必要性が指摘されています。子どもの教育に関していえば、青少年問題が社会の関心を集めている今日、子どもたちをいかにによりよい方向に導いていくかという点において、その教育は地域に目が向けられています。ボーイスカウトのさまざまな活動を通して、地域社会での社会奉仕体験や自然体験などを経験させ青少年の健全な心と体の育成に貢献できればと思います。



スーパーカブスカウト、菊スカウト誕生

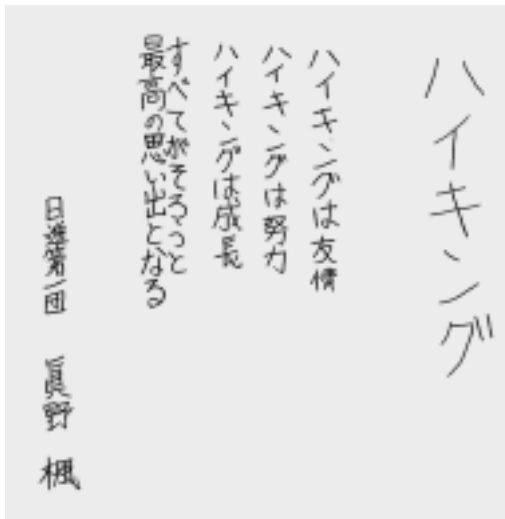
弥栄！！ スーパーカブスカウト水野紗果さん、菊スカウト小森美香さん井上貴絵さん誕生。この度、我が団所属スカウトでスーパーカブ1名と菊スカウト2名が誕生しました。

スーパーカブは、カブ課程40個のチャレンジ章の完修、菊スカウトはボーイ課程必須科目の完修を達成しなければ取得できない章です。スカウト本人が必ず取るという自覚が一番ですが、陰で支えていただいた家族・隊指導者がいたからこそ取得できたこともあります。今回、多くの皆さんの協力で取得できた事に感謝し、そして満足することなく次の目標に向かって取り組んでいってほしいです。

瀬戸第1団団委員長 井上文義

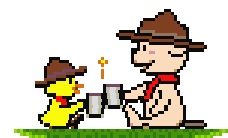
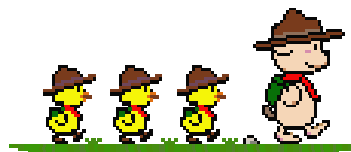


ハイキング



日進第1団ボーイ隊 眞野 楓

日進第1団の2級挑戦ハイクを終えた後に書いた詩です。



2007年度ソウル北部連盟キャンポリー参加

感想 リジラ班 西尾加奈
今回の韓国派遣ではとても貴重な体験をすることができました。食事はもちろ絶対に出でせなり辛かったです。毎回「spicy-とかhot」といながら食べていました。そうすると韓国の子ともうちとけてバナボートなどのプログラムを行いました。独立記念館には昔日本が韓国にしたひどい行為が展示してあり思わず目をつぶってしまいました。これから韓国の子に負けないように英語の勉強をしたいと思います。この派遣に行くにあたり両親・リーダー・その他たくさんの方の支援をいただきました。ありがとうございました。

日進第1団ボーイ隊 西尾加奈



世界ジャンボリーに参加して

日進第1団ベンチャー隊 前田昂輝

世界ジャンボリーが4年に一度の開催で全世界のボーイスカウトの最大行事であることは周知の事実である。しかし今回は「スカウト運動百周年記念ジャンボリー」の別名をもったジャンボリーであった。開催地はボーイスカウト発祥の地、イギリス。何を差し置いてもまずこの歴史的瞬間に立ち会うことができた巡り合わせに感謝したい。

現地ではST (International Service Team) という立場で奉仕活動にあたった。いわゆる大会運営本部と参加隊との繋ぎの役目である。その中でも担当はサブキャンプであり、各国参加隊スカウトと実際触れ合うことのできる立場であった。各サブキャンプに日本人スタッフは1人ずつであったことからまさしく Good Morning に始まり Good Night に終わる1日である。どうしても多い開催国スタッフのクイーンズイングリッシュに浸りながらの大会期間は本当にあつという間であった。ただスカウトが不自由なく、願わくは快適に過ごせる様、務めるのが私たちの仕事であった。だがそれが私の望んだ今回の大会参加動機の1つであったので、大変だと感じる暇もないくらい充実した13日間であった。

どうしても言葉では表し尽くせない感動を1人でも多くの日本スカウトが体験、共感できるためにも日本連盟、ひいては私を含め過去の大会参加者の想いが成就することを願っている。

第21回世界スカウトジャンボリー概要

- 会場 ハイランズパーク (イギリス・チェルムスフォード)
ロンドンから北東に約50 kmのエセックス州州都
- 期間 7月28日～8月7日
- 参加者 スカウト、指導者を含めて約4万人
(日本からは1510人が参加)
- スローガン 「ひとつの世界 ひとつのちかい」
(One World One Promise)



せともの祭早朝清掃

瀬戸第5団副団委員長 加藤智浩

祭りの2日目9月9日(日)午前6時宮前公園広場に集合。瀬戸川左岸沿いの廉売市場を約1時間かけて清掃しました。すでに十数年も続く毎年恒例の行事だ。「今日もきれいな町で祭りを楽しんでほしい」ビーバー隊員からローバー隊員、保護者らが参加した。たばこの吸殻や空き缶などのごみを拾い集めた。ボーイスカウト日本連盟では9月17日を「スカウトの日」と制定。その日を「カントリー大作戦」と銘打ち全国で各団が独自の地域貢献活動を行っている。瀬戸第5団の清掃活動もその一環、市の取り組みもあり会場のごみは毎年減っています。瀬戸にいい印象を持って帰ってもらえればうれしいです。

せともの祭概要

昭和7年磁祖加藤民吉翁の遺徳をたたえる産業祭として開催されました。以来本年で76回を数え、お祭りは2日間で数多くの行事が開催され、なかでも「せともの大廉売市」は十数万の人手でにぎわいます。



お知らせコーナー



カブラリー

野営行事委員会

日時 11月4日(日) 9時30分～15時
場所 豊田市藤岡町愛知県緑化センター内昭和の森、交流館、第6駐車場
目的 カブスカウトの進歩課目習得
内容 地質学者等



カブ隊指導者研究会

指導者養成委員会

日時 11月11日(日) 9時～16時
場所 尾張旭市庄中町塚平2099-1 尾張旭市渋川福祉センター3階
参加者 カブ隊指導者(隊長、副長、副長補、デンリーダー)

ビーバーラリー

野営行事委員会

日時 11月25日(日) 9時30分～12時
場所 長久手町愛知県青少年公園内 もりころ広場
一般体験児童(小学校1年生の就学直前9月から小学校2年生)

・・・編集後記・・・

紙面掲載用の原稿、写真、地域の行事原稿、ご意見等を地区広報委員までどしどしお寄せください。本紙に使用したイラストは、「岡崎第5団あんめの素材部屋」を利用させていただきました。

【広報委員会】

谷口錠利(尾張旭第1団) 井上文義(瀬戸第1団) 伊藤靖史(瀬戸第5団) 加藤智浩(瀬戸第5団)
小島祐二(瀬戸第6団) 加藤健(瀬戸第8団) 石川博幸(日進第1団) 星信行(日進第2団)
鈴木清子(長久手第1団) 山田高司(地区副コミッショナー)

【編集事務局】 ☎489-0888 瀬戸市原山台3-13 尾張東地区広報委員長 渡邊正行
編集担当 瀬戸第5団 伊藤靖史

発行部数 1,200部